第 95 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成２９年　７月１０日発行
発行責任者　高橋 哲男
編集責任者　小山田朋樹
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/

会の告知板

【部会予定】

7 月 10 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ&山歩き部会第 61 回「小峰公園と秋川コース」	09:00	東久留米駅改札口
7 月 25 日(火)	カラオケ部会	18:00	オンチッチ
8 月　6 日(日)	第 2 回役員会	16:00	生涯学習センター
9 月 11 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ&山歩き部会第 62 回「旧板橋宿他」		(詳細未定)
11 月 12 日(日)~13 日(月)	旅行同好会「山梨方面」		(詳細未定)

＜各部会定例活動一覧＞

部 会	7 月				8 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	19	水	12:00~	ココット				
囲 碁	23	日	13:00~	成美教育文化会館	27	日	13:00~	成美教育文化会館
俳 句	16	日	13:00~	中央町地区ｾﾝﾀｰ	20	日	13:00~	生涯学習センター
書 道	9	日	13:00~	成美教育文化会館	13	日	13:00~	生涯学習センター
太極拳	8	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	5	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	22	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	19	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	29	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	26	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:30~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ

【大学・校友会関係】

8 月 20 日(日)	東京三多摩支部会長会		コール田無
9 月 30 日(土)	校友会秋季代議員会	16:00	大隈講堂(予定)
10 月　4 日(水)	2017 稲門祭実行委員会	18:30	井深記念講堂
10 月　7 日(土)	小平稲門会総会	11:00	ルネ・小平
10 月 15 日(日)	2017 稲門祭		終　日
11 月 12 日(日)	東京三多摩支部大会		大隈会館
11 月 18 日(土)	東村山稲門会総会	14:00	ｻﾝﾊﾟﾙﾈｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾎｰﾙ

会の報告

◎役員会報告　平成 29 年度第 1 回役員会が 6 月 4 日(日)16:00～生涯学習センターにて開催された。

＜議事録概要＞

高橋会長より総会のお礼、今後の運営方針等の説明。清水会計より 5 月末まで会費入金状況及び 29 年度総会懇親会の収支報告。

1．大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

（1）東久留米三田会総会　4 月 22 日(土)　安次峰前会長・渡辺前副会長出席。

（2）西東京稲門会総会　　6 月 11 日(日)　高橋会長・山岡副会長出席。
2　平成 29 年度会員の状況
（1）5 月末現在の会費納入者は 124 名、未納者の 34 名に督促状を送る。
3　本年度の行事予定、担当者
（1）次回以降の役員会の日程：　8/6(日)・10/1(日)・12/10(日)・2/4(日)・4/8(日)
（2）秋の旨いもの会は小野副会長が担当で、日程等は次回役員会に提案。
（3）忘年会は 12 月 10 日(日)、会場は未定。
（4）新年会は小山田副会長が担当で、1/27(土)とし、会場は成美会館の 3 階大研修室を予定。
（5）次年度総会は平成 30 年 4 月 22 日(日)。
4　平成 29 年度会員名簿印刷は、7 月 8 日(土)14 時～　西部地域センター印刷室にて東稲ニュース印刷時に行うので、極力参加いただきたい。
5　稲門祭記念品の販売状況：14 万円の目標であったが、18 万 4 千円の売り上げがあった。
6　その他
（1）講演会担当を、退任した小牧幹事から長束幹事へ。
（2）河村幹事より、市への貢献の一環として「子供食堂」への協力提案があり了承。

◎6 月 11 日(日) 西東京稲門会総会

平成 29 年 6 月 11 日(日)、東伏見キャンパスにて、西東京稲門会第 17 回定時総会が開催された。第 1 部の講演会は、市教育委員会主事で稲門の亀田直美氏による市内の南関東最大級縄文集落「下野谷(したのや)遺跡」について。その後、2 部定時総会、3 部懇親会と続いた。懇親会では、男声Wカルテット　コールジョイ(半数が稲門)の力強い歌声が会場に響き渡り、会を盛り上げた。会場のあちらこちらで話の輪が広がり、会は楽しく進み和やかなうちに閉会となった。　　山岡 恭子 記

新役員の紹介

金子 孝司（49 年　理工）

東久留米稲門会に入会して 2 年になり、総会、懇親会への参加、さらに好きなゴルフ部会へ参加させていただき、皆様への仲間入りができました。お蔭様で街中で会員にお会いし、ご挨拶することもありました。

今回、高橋会長より役員を拝命いたしました。まだ会員の皆様の名前もわずかしか知らないし、何をすべきかわかりませんが、今回同時にゴルフ部会の会長にも就任しましたのでので、まずはゴルフ部会の発展、それから他部会の行事にも積極的に参加し、東久留米稲門会の発展に微力ながら貢献したいと思います。よろしくお願いいたします。

中村 敏明　（45 年　法）

生まれは埼玉で、東松山高校から早稲田に進みました。卒業した 45 年に早々と結婚し一男一女を儲けました。鷺宮(新青梅海道沿い)に 16 年ほど住みましたが、長男に小児喘息が発症し上石神井に転居。約 28 年住み慣れた地から、縁あって(娘がひばりに在住)この地に引越しました。大変な断捨離も経験しました。

現在はテニス(40 歳から始めた)を、毎週月曜火曜と土曜日が月に 2 回程度。金曜日は昨年来東稲のバドミントンに嵌まり楽しんでおります。亦囲碁部会は月一ですが稲門会のお世話になっています。

長年バイオリンとピアノを教えてきた妻は東久留米のシティフィルに友人が

おり昨年今年と定期演奏会に出演したり、1年ほど前から4歳児と5歳児の生徒ができピアノを教えるようになりました。

妻がカトリックの洗礼を受け、その後長男その6年後は娘も受洗と外堀を埋められて、私も30数年前に洗礼を受け、以来聖歌隊でテナーのパートを受け持っています。毎日曜日は妻と下井草教会のミサに授かる模範的(？)な信者としての評価(？)を自分で勝手にしております。

現在は娘(愛犬クッキー)と妻(幸子)との3人暮らし、マンションの持ち回り理事を受けたお陰で、マンション内にも知り合いが増え、住環境が急激に広がって来ました。

解らないことばかりですが何事もプラス思考で臨みたいと思っています。よろしくお願い申します。

山岡 恭子（53年　教育）

このたび副会長を拝命いたしました山岡恭子です。今回、二度目の幹事就任となります。一度目は設立総会の時でした。在任中2011年に、頚部ジストニアにかかり、治療のため女子医大近くの新宿区若松町に転居いたしました。ここは偶然にも早稲田大学の徒歩圏内。今更ながら、大学にはご縁、と同時にご恩を感じております。さて、出身は練馬区で中高は一貫教育の女子高でした。大学は教育学部英語英文。卒業後、就職、結婚して、西武線沿線の東久留米に越して26年間過ごしました。東久留米は私の子供達にとっては、ふるさとであり、私には懐かしい思い出の地です。設立当初からお世話になっている東久留米稲門会は、尊くかけがえのない唯一無二の存在です。副会長職は身に余る重責ですが、新川町には古家があり、いつか戻って来れたら…との思いを胸に、真摯に汗をかかせていただこうと思っております。不馴れな副会長職ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

横田 治彦（45年　理工）

稲門会発足時から参加しておりましたが、仕事の都合で長く休会させていただきました。再入会後はゴルフ部会で楽しくプレーさせていただいております。建築学科出身で建築構造の研究・技術開発に長く携わっておりましたので、少しでも地元のお役にたちたいと、市の応急危険度判定員（地震被害を受けた建物の危険度判定）を続けております。幸い出動の機会はまだありませんが、地震防災は日頃からの備えが大切です。いざという時に動ける体力を維持すべく、テニス、スキーなどのスポーツも続けています。会の運営について何も分からない新米幹事ですが、ご指導をよろしくお願いいたします。

部会報告

＜書道部会＞

「入部20年」

書道部に入部して20年になります。入部した頃は、未だお習字の段階です。最初は武藤先生から与えられた宿題「永字八法」を、半紙（縦35ｃｍ×横25ｃｍ）に書くことから始まりました。又、書は「強弱」、「濃淡」、「筆力」、を念頭に入れて書くように教わりました。

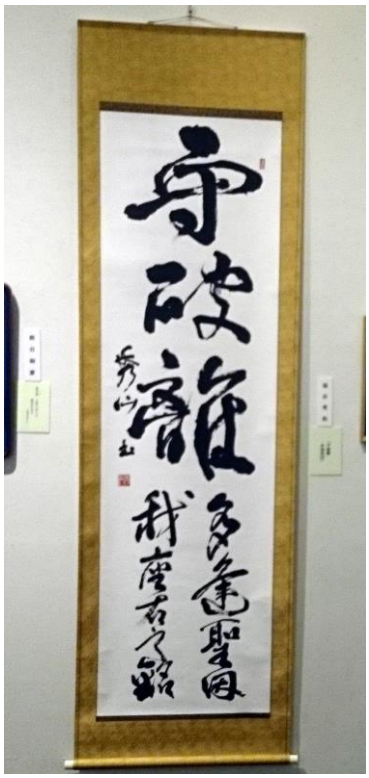
今は半切（縦135ｃｍ×横35ｃｍ）に書くことが主にですが、手本をよく見て字の特徴を自分なりに掴み、書くようにしています。良く書けた作品を持参して、書道部会に出席し、部会員の全員作品を展示、各々の批評があり、先生の添削を受け、又書き直しの連続です。その間に書の基本を忘れ、ただ書いていることに気付き、姿勢を正して反省して、書く日々です。　字は書けば書くほど難しくなり、

いまだに苦労しています。一作品に最低でも 100 枚は書くように言われますが、30 枚から 50 枚書くともう自分なりに良く書けたと思ってそれ以上続きません。まだまだ努力不足です。

私は 7 年前に喉頭癌、胃癌の大病を患いましたが、入院中も書道を、書を、書かなくてはと頭から離れませんでした。今にして思えば私には書道があり、書くという気力があったからこそ今もこうして元気でいられると思っています。私の作品は中国先人の古典を臨書した作品が多いので、これからもっと書き込んで自分の字を完成させて、自分の字で作品を書くよう頑張っています。

久家 政裕 記

作品の解説「委運復何言・人生信可疑」
（運に委ね復た何をか言わん、人生信に疑う可し）



「稲門会の書道部に入会して良かったこと、楽しんでいること」

(1)長く継続している事です(防認知症､継続は力なり､を信じて)。
(2)定年 2 年前から入会し、傘寿を迎えるに至りました。趣味として僅かな書画の技法で、手が動かなくなるまで継続出来る嬉しさです。
中国宋時代の米芾の書道と水墨画博士の古典を学び乍ら、筆遣いが殆んど同じ水墨画にと挑んでいます。
20 年前、武藤先生から「書道作品は【最後は絵】になるように」と､【作品創作の七ツ道具】を教えられ同じ用筆の水墨画に誘導されました。
(3)書道部入会が引き金となり､他の書道界に入会して書道の運筆、さまざまな会則を知る事が出来ました（我座右の銘、守破離と多逢聖因の精神で、書法研究　高友社等に所属して、5～7 年で師範取得も可能でした)。
優れた古典漢詩（歐陽詢、顧真卿の楷書、米芾、董其昌の行書等）の臨書の大切さを、今も繰り返し形臨、意臨、背臨し、横須賀と地元で３０数名の弟子と共に、基本を繰り返し乍ら楽しんでいます。

(4)上記が展覧会に結び付いたこと
地元”成美文化会館”で 2 年毎の出品、また”東京都美術館”に於いて年 1 回の展覧会が開催可能となり、出展料も安く継続出来、遣り甲斐を感じております、稲門会のお陰です。
第 17 回は台湾の蒋介石会館で約 500 点､18 回は中国上海で 500 点の、分会としての開催が決定しています。短時間飛行での熟年旅行を兼ねた参加も出来ます。
稲門会書道部の多くの会員の練成会温泉旅行（水上、伊豆、熱海、箱根 等）で、杯を交わし乍ら、楽しめた懐かしさを思い出します。
楽しい書道部会を紹介し、新会員を増やして頂き､【教室で書く楽しみ】も期待出来ます、初心者歓迎の書道部です、老若問わずどうぞ奮っての入会を、会員一同お待ちしています。水墨画もよろしく。

福田 稔 記

＜バドミントン部会＞　5 月 7 日(日)　東久留米市バドミントン大会出場！

「バドミントン大会に参加して」

バドミントンを始めて８ヶ月たった私の目に、「東久留米市バドミントン大会」の案内が飛び込んできました。初心者の部やシニアの部もあるとか。参加賞も出るらしい。　何か面白そうじゃん？　と軽い気持ちで問い合わせメールを送ったのが運のツキ。バドミントン連盟の方が、早速わがバドミントン部を見学に来てくださり、あれよあれよと出場が決まりました。

大会当日の5月7日､東久留米スポーツセンターに行って驚きました｡大会参加人数は140名くらい。大きなスポーツバッグを背負った方が多く、私たちとは佇まいからして違います。ただただ圧倒されました。

大会そのものは、ダブルスのみ。男女別に 1～4 部に分かれています。その他にシニア部がありました。松崎洋子さんと私のペアは、何故か 4 部にエントリーされていました。私たちペアはおそらく大会最高年齢だったこともあり(言い訳です)、結果は惨敗に終わりました。

しかしながら、プレイヤーの方たちの熱さやレベルの高さに触れたことや、スコアシートを書いたり線審の仕事を教えていただいたり、実り多き大会でした。

次の大会こそ一勝するぞ、オーー！！　　片平 るみ 記

「バド奮戦記」

5 月 7 日に第 56 回東久留米市民バドミントン大会が開催されました。稲門会として 2 組参加いたしました。始めて 7～9 ヶ月の初心者が､､､と思いましたが何事も経験してみよう精神での参加でした。

男女ともダブルスのみでそれぞれ 1 部から 3 部までクラス分けがあり、私たちは男女ダブルス 4 部というクラス。練習風景は片方がバンバンスマッシュし一方がガンガン返す、そんな光景がいたるところで(コート 8 面)行なわれ我ら一同圧倒されっぱなし！！

中村・片平(邦)ペア

男子プロは初速 300KM を越すと言われていますが、私には 100K も 150K も目に見えないことに変わりはありません。練習する間もなく試合開始へ。1 セット目モタモタしてる間に負け、2 セット目はいい場面もありましたが敗退。4 チームの総当りなので、2 試合目は少し慣れてきて 20 対 20 の場面、ジュースなしの緊張シーンもこちらのミスで負け。言い訳になりますが倶楽部チームからの参加が多く、対戦相手には必ず応援が付きます。初心者な上、完全アウエーの中でこなくそ！と力が入るとミスる。

最後は稲門との同門対決。相手は片平・松崎の　片松ペア。なんとか勝たせてもらい、中村・片平（邦）ペアは３位入賞。　　中村 敏明 記

＜旅行同好会＞「房総半島一周バスの旅」

第 11 回の旅行同好会の旅は、5 月 14 日(日)、15 日(月)の二日間で房総半島を一周するバスの旅であった。房総半島はどこかしら行っているのであるが、房総半島を一周することはあまりないので楽しい旅になると期待できた。参加者は当初は 15 名であったが、間際になって 2 名不参加となり総勢 13 名と今までより少ない参加者となった。

5 月 14 日は東久留米市役所前を午前 7 時出発と云うことであったが、皆さん早く集合されて少し早く出発できた。バス会社も運転手さんもいつもと同じで気心の知れた仲同士である。バスが高速道に入る頃にはいつものように、後部のサロン席では賑やかに宴会が始まっている。いやはや、本当に楽しい旅である。

守谷ＳＡで小休憩の後、最初の訪問地香取神宮に到着した。香取神宮は古くから国家鎮護の神として

ホテル前で参加者全員集合

崇拝されてきた、下総国の一の宮である。大きな朱の鳥居を潜るとうっそうとした森の中の参道が本宮へと導いてくれる。ここには地震を鎮める要石というのがあり、鹿島神宮は凹型で、ここは凸型だと云うことである。一行の何人かは少し遠回りをしてこの要石を見に行った。もちろん筆者も行きました。

佐原の町は小野川の水運で発展した古い町並みが残っている風情ある、伊能忠敬の生家のあることでも知られた町です。ここでも、皆さん思い思いに散策して、おみやげも沢山買っていた。

この後、犬吠埼へとバスを走らせ丁度お昼頃に犬吠埼に着き、食事処「島武水産」で昼食となった。鮨と天婦羅、それに日本酒で豪華な昼食となり皆大満足であった。大体の人は犬吠埼の灯台のところまで歩いた。灯台から見る太平洋は雄大で、この日は波が少し高いようだった。

午後は房総半島の東側、いわゆる外房を一路南下し本日の宿、小湊へと向かった。途中、玉葱街道で10ｋｇ1,000 円で新玉葱を買い、海の駅で休憩と買い物をし、御宿では月の砂漠を旅する二頭の駱駝の像を遠くに眺めて、予定通り 17 時前に小湊温泉満ちてくる宿「吉夢」に着いた。

この後は、温泉もよし、宴会もよしで、宴会ではカラオケまで出てきて大いに盛り上がった。

佐原の風情ある街並み

日蓮宗　誕生寺

翌日は、ホテルのすぐ近くに日蓮宗の誕生寺があり各自拝観し、ホテル玄関で東稲ニュースに載せる集合写真を撮り、鯛の浦の遊覧船観光となった。係りの人が餌を撒くと大きな鯛が群れをなして集まるのであるが、以前見た時ほどには多くなかったように思えた。

内房側の金谷に行くまでに山の中にカステラ工場があり、観光バスが沢山止まっていた。

観光バスが来なかったら商売にならない場所でも、やりようによっては商売になるのだと妙に感心した。浜金谷の「ザ・フィッシュ」で昼食を取った後は、鋸山登山である。ロープウェイが山頂まで行くのであるが、その奥は、日本寺という寺？の境内で拝観料を払わないと奥へは行けない。足に自信のある人は「地獄のぞき」を覗いて来た。

その後帰路に着き、海ほたるで最後の買い物をして予定通り 18 時に東久留米駅前に到着し、第１１回稲門会旅行部会の旅も大変楽しかったという皆さんの感想をもって終わった。

今回は、最終的に 13 名という少ない参加者になってしまったが、出発前に声を掛けさせて貰った会員の多くが、行きたいが、その日は具合が悪いという人が多かった。もう少し早く日程が分かればという声もあったので、次回第１２回の旅行は 11 月 12 日(日)～13 日(月)に未だ行っていない山梨方面としましたので、皆さんこの日は、稲門会の旅行に参加すると云うことで日程を調整しておいて下さい。

次回は是非新しい人の参加をお待ちしています。　　井坂　宏 記

＜俳句部会＞

202 回　5 月 21 日　　生涯学習センター

兼題　　花水木　　夏めく

せせらぎの夏めく光濃き薄き	三浦洋子
秩父路の夫婦巡礼余花明り	川俣栄一
薫風を浴びて赤子の育ちゆく	片平るみ
渋滞の列を慰む花水木	三浦洋子
山寺の仏陀も木々も夏めけり	松田博雄
街道にリズムを刻む花水木	杉本達夫
夏めくや縁にそろいし下駄ふたつ	川島知子
水玉のテーブルクロス夏めきて	神田尚計
いますこし生きておりたし桐の花	杉本達夫
新刊書開くベンチや若葉風	神田尚計

203 回　6 月 18 日　中央町地区センター

兼題　　万緑　　夏至

暮れ残る高層ビル群夏至の都会	比護喜一郎
幾たびの夏至を跨いで生きて来し	杉本達夫
老いの日や一日事なし夏至の暮れ	川俣栄一
万緑の峠に朽ちし道しるべ	杉本達夫
夏至の日の浅き夢より目覚めけり	本間信一
くちなしの香をとじ込めて雨けぶる	神田尚計
夏至の夜宇宙の話なほ続き	松田博雄
万緑を映して閑か山の湖	神田尚計
夏至近し京の町家の朝の影	川島知子
時計見てあわてて仕度夏至夕餉	三浦洋子
万緑やこの星に生き深呼吸	馬場清彦
万緑や枳穀トゲまで青々し	川島知子

片平 るみ 記

＜ウォーキング＆山歩き部会＞　第 60 回　武蔵丘陵森林公園ウオーキング　活動報告

5 月 22 日 14 名が東久留米駅改札に 9 時集合し、森林公園駅へと出発。森林公園の西口に着いてウオーキングを開始したのは予定時刻 10 時 50 分、好天に恵まれまさに薫風香る・・・。皆さん日頃の心がけが良いようで。

小鳥たちや春蝉の鳴き声を聞きながら森の中の遊歩道（と言っても園内の循環バスやメンテのトラックが通れる程広い舗装道路）を歩く。子供たちが水遊び出来る渓流広場を横に見て 30 分程進むとなだらかな左斜面にルピナスの群落が現れ緑の中の極彩色。近くの植物園展示棟で小休止、売店のソフトクリームは 450 円だがコスパは？であった。

森林公園　西口入口広場

さて出発、ハーブガーデンへ、身近な草花もハーブの仲間であることを知ってビックリしたのは筆者だけかも。生垣園を横目で見て道の両側にあるボーダー花壇の花々を愛でながら進み花壇の途切れたところでUターンする。ここから昼食の場である中央レストランへ向かうのだが、途中で、直行グループと寄り道グループとに別れる。寄り道グループは大きな彫刻が展示（設置）してある彫刻広場を通り、メタセコイアなど珍しい針葉樹が植えられている針葉樹園を抜け中央レストランへ着いた。一方直行グループは寄り道グループが着いた時にはすでに到着して食事が始まっていた。　昼食は持参の方もそうでない方もビール付きが多かったようで。

緑陰の記念撮影

昼食後、14 時半に南口集合として、それまで自由行動となり、13 時に三々五々出発。途中行方不明になりかけた？御仁もありましたが、定刻までに全員集合。南口から森林公園駅まで 3㎞程だが誰一人「歩く！」と言う人はおらず、と言うことは皆さん結構歩いたんですね。その後川上さんご紹介の川越市駅と本川越駅の中程にある居酒屋で打ち上げとなった次第。

別処 尚志 記

＜女性サークル＞

神代植物公園と深大寺

5 月 24 日、私たち女性サークルは、神代植物公園と深大寺への散策に出掛けました。

当日は薔薇フェスタ開催中とあり、入場券売り場は長蛇の列でした。園内はまさに、薔薇真っ盛り。舌を噛みそうな長い名前の薔薇、紅茶の香りの薔薇、フルーツの香りの薔薇、などなど、噴水を囲んでの洋式庭園に 5200 本あるとか。十二分に薔薇を堪能し、大温室のベゴニアや蘭もしっかり見たあと、すぐお隣の深大寺へと向かいました。

花も恥じらうワセ女美女軍団

深大寺には、今年になって新たに国宝に指定された白鳳仏があります。椅子に腰かけた、仏像としては珍しいポーズです。優しいお顔立ちをなさっていますが、1400 年も前に造られたことを考えると、頭がクラクラする想いでした。

その後、水生植物園にも足を伸ばし、深大寺蕎麦を食べて解散となりました。蕎麦を食べながら、大学時代の体育授業の話で盛り上がったのも、同窓生の集まりならではのことではないでしょうか。

楽しい一日でした。　　片平 るみ 記

＜野球早慶戦観戦部会＞　野球早慶戦観戦記

早慶戦の結果については皆様先刻ご承知の筈ですので、今回は現場の雰囲気をお伝え出来ればというつもりで観戦記を書きます。

5 月 27 日(土)第 1 戦当日は好天で絶好の野球観戦日和。10 時 30 分に東久留米駅集合、今回の参加者は 3 名（福田様：37 年卒、高橋会長、私：山口)。因みに、昨春は 3 名・昨秋 2 名参加でした。

東京メトロ大江戸線国立競技場駅下車。球場へ向かう道々アルファベットの文字の入った旗を持ち、信濃町駅から球場へ向かう若人に遭遇。聞けば早大学院の学生達。かなりの人数で心強く感じた次第。

母校にとっては優勝の懸からない試合でしたが、応援が多いのは嬉しい事です。今回の席は一般内野席にて 1300 円也。バックネットに近く、程々高い位置で見やすい席でした。或いはご存じない方がいらっしゃるかも知れませんが、神宮の外野席は早慶戦以外男性 65 歳以上入場無料(女性は年齢に関わらずタダ)です。私の友人で弁当・ビール持参で無料観戦を楽しむ夫婦がおります。かく言う私も今春東大・明大・法大・立大戦を各 1 試合無料観戦致しました。これは出身校関わり無くですから、今秋以降どうしようもなく退屈な週末には日光浴のつもりでどうぞお運び下さい。

13 時プレーボールの前に高橋会長ご持参の「赤霧島」で喉を湿らせ、おにぎりで腹ごしらえ完了。試合は 5 回までは投手戦というか貧打戦というか、両軍 0 行進。今春の母校投手陣は相手を警戒し過ぎるのか、制球力が弱いのか四死球が多く、6 回裏満塁ホーマー喫し、7 回表 5 点取って逆転するも、8 回裏又も満塁弾を浴びて万事休す。残念な結果でしたが、秋シーズンは制球力つけて戴きたいものです。

今回 37 年卒業以来の学生野球観戦という福田様が勝敗を度外視されて、非常に楽しそうに観戦されていらっしゃって、会長・私もついつられて興奮した次第。福田様は学生時代かなり熱心に神宮へ足を運ばれ、あの伝説の早慶 6 連戦もご覧になられた由。神宮球場も応援風景を大きく変わったものの熱気は変わらないとのご感想でした。

「恒例」により、東久留米へ戻り残念会というか反省会というか。3 人で大いに盛り上がりました。どのような競技でもそうですが勝敗もさる事ながら、現場観戦はそれなりに楽しいものです。ＴＶの枠には収まりきらないものが現場にはあります。秋には参加者が増えると一層球趣が増すものと期待しております。

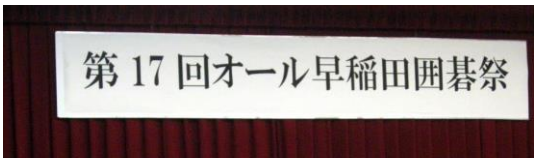
山口 謙二　記

＜囲碁部会＞　オール早稲田囲碁祭で東久留米チーム活躍！

第 17 回オール早稲田囲碁祭（首都圏稲門会）が 6 月 3 日に市ヶ谷の日本棋院会館で開催されました。競技内容は A～D クラスに分かれ、1 チーム 5 人の団体戦と級位個人戦で総当たりリーグ戦による予選と順位決定戦が行われました。代表チームは東久留米・西東京混成チームとして次の 5 名が出場しました。

東久留米・西東京混成チーム　（Ａクラス参加）

主将：九段　苅草正守（東久留米）
副将：五段　栗林雄次（西東京）
三将：五段　中村敏明（東久留米）
四将：三段　秋本　武（西東京）
五将：二段　小池忠之（東久留米）



総当たりリーグ戦では、柏チーム、流山チーム、多摩チームに連勝して順位決定戦に進出し、決勝で船橋稲門会チームを破ってＡクラス優勝となりました。

緊迫感のある対局

また、酒井健初段（東久留米）と木下睦初段（西東京）が、東久留米・新宿・我孫子混成チームとしてＤクラスに出場するほかに、鮎貝 5 級が級位個人戦に参加し、鮎貝 5 級は、個人戦 2 位という好成績をおさめました。

今回の大会は、主将がやや不調でしたが、副将以下の全選手が見事な戦いを見せ、特に五将（小池二段）がリーグ戦初戦から決勝戦に至るまで全勝し、来

季の昇段を決める（大会規定による昇段）など、チーム全体の結束が好結果をもたらしたものと思われます。

囲碁部会今後の予定として、7 月 8 月は定例の月一回囲碁研修会を行います。９月には首都圏稲門会による稲穂会（個人戦：日時未定）が行われます。昨年度は、秋の稲穂会（個人戦）で苅草九段が優勝し、今年は春のオール早稲田囲碁祭（団体戦）Ａクラスで東久留米・西東京混成チームが優勝したので、この成績が続けられるようにしたいと思います。　　苅草 正守 記

＜ゴルフ部会＞

さわやかな緑が一杯の気持ちの良いスタートを前に

6 月 6 日(火)越生ゴルフクラブで、第 27 回東久留米三田会・稲門会合同ゴルフ会を開催。関東地方梅雨入り直後ではあったが、幸いにも絶好のゴルフ日和になり、稲門会 10 名、三田会 7 名合計 17 名の参加でいつも通り賑やかで和やかなゴルフ会となりました。

越生ＧＣでの開催は、早慶合同ゴルフ会としては初めてで、昨年シニアの公式戦が行われたと聞き、難しいコースかと心配しましたが、ごく一部を除き大半のプレーヤーは健闘。個人戦は、稲門会の小野さんがネット 74(グロス 97)で大会 3 度目の優勝、2 位は僅差で東海さん、3 位は三田会の田島さんでした。

ベストグロスは、7 回の優勝実績のある当会の上原さんで、グロス 81 と圧倒的な実力を発揮。通常どこのコンペでも、ベストグロスは敬意をもって表彰されるものですが、当早慶ゴルフ会では対象者が実質的に決まっていることもあり、ずっと表彰しておりません。大変失礼を致していることお詫びします。団体戦は当会が 11 ポイント差で 7 連勝。通算戦績は 13 勝 13 敗 1 分けとイーブンにまで漕ぎ着けました。一時は 4 勝 12 敗と大きく負け越し、団体賞を三田会が殆ど毎回ゲットしていたこともありました。稲門会として戦意喪失状態になり、賞を取られっぱなしでは悔しいので団体賞は名誉だけ(賞品の対象外)にしたいと申し入れ、そうなった経緯があっただけに近年の稲門諸兄の健闘は喜ばしい限りです。

尚、今回をもちましてゴルフ部会長は伊東から金子孝司さん(49 年理工卒)に替わります。お陰様でなんとかお役目を務め上げる事ができ御礼致します。

金子新部会長へは格段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。　　伊東　毅 記

＜IRS（いろいろスポーツ)キャッチボール会＞

久しぶりのキャッチボール　部会を目指して・・

6 月 9 日(金)、16 日(金)、23 日(金)に「IRS バトミントン部会」がスポーツセンターアリーナ改修工事の為に休みとなり、約 1 年ぶりにキャッチボールに振り替えてもらいました。場所は東久留米市下里、(黒目川、「降り馬橋」横)『下里ふれあい公園』にて行い、6 月 9 日は 8 人、16 日は 3 人、23 日は 4 人が参加しました。部会を目指し、曜日を変えて木曜日、午前 11 時～１時間程行う予定です。

安次峰 暁 記

部会だより

＜ウォーキング＆山歩き部会＞

第 61 回【都営小峰公園と秋川コース】　＊距離は短いが急坂の林道を歩きます。

日　時：７月１０日（月）９：００東久留米駅改札口集合　＊雨天延期：２４日（月）
交　通：西武の各線を経由し、拝島からＪＲ武蔵五日市駅
費　用：参加費　300 円　　交通費 1,112 円、昼食等持参　←各自払い
連絡先：東海俊孝　e-mail　toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp（電話 473 － 8566）
　　別処尚志　e-mail　t_bessyo@jcom.zaq.ne.jp　　（電話 475 － 1710）
　　★事前に参加の連絡を戴ければ、運営上助かります。

第 62 回　9 月 11 日（月）旧板橋宿の散策、とげぬき地蔵、染井霊園、六義園、古河庭園
第 63 回 11 月 20 日（月）山歩き:天覧山、多峯主山（とうのすやま）

東海 俊孝記

＜カラオケ部会＞　　7 月 25 日「カラオケを楽しむ会」

1. と　き：7 月 25 日（火）午後 6 時
2. ところ：オンチッチ
3. かいひ：4,000 円
4. 連絡先：髙栁康夫　TEL：473－3559　携帯：090－8741－8424
　　E-mail：y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

前略　盛夏の候　皆様方におかれましては、ますますお元気にお過ごしのことと拝察申しあげます。最近に至り、健康に関する TV 番組が多くなってきた観があり、特に、高齢化に伴う疾患がとり上げられていますが、その予防策として、「ご発声」に励むことが大いに効き目があるようです。

つきましては、恒例の夏バージョンを上記のとおり開催いたしますので、日頃のストレスを発散し、リフレッシュされますよう奮ってご参加のほどお願いいたします。草々

髙栁 康夫 記

Table For Children

当会の規約第 2 条に「東久留米市の発展に寄与することを目的とする」とあります。今年の初めの役員会でこの規約が話題になり、これに準ずるようなことは行っていないのではないかという意見が多く出ました。市の発展というのは、市が栄え市民の全体が向上すること。それに当会は大きな力は貸せません。しかし微力でも何とかできないものかと考えていました。

ある日テレビで「Table for two」という活動の状況を放映していました。ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。社員食堂で食事をした際に料金にプラス 10 円を払うのです。その 10 円を早大出身の 40 歳代の NPO 代表がまとめて、東南アジアの貧しい子供たちに食事を提供しているそうです。多くの企業が賛同し、わずか一人 10 円でも多額になるのです。この番組を見て私達も東久留米の子供食堂を少しでも援助できるのではと考えました。

正式に役員会の許可を得る前に、3 月のグルメ会でこの趣旨を説明し、多くの方に食事代に 100 円をプラスして頂きました。その後役員会で正式に認可されました。

当市には、滝山に子供食堂が 1 か所。そこに食材の費用として寄付することにしています。各部会、行事に参加された方々、打ち上げなどの会で賛同なさる方だけでかまいませんので、お金を集めて頂ければと思っております。

みなさま　よろしくお願い申し上げます。　　河村 洋子 記

東稲広報室

＜新入会員＞　佐藤　貞止さん　（昭和 30 年　第一理工）
長澤　育男さん　（平成 12 年　法）

＜訃報＞

宝蔵寺行隆様、4 月 28 日ご逝去（享年 87）、弔意規定により当会より香典をお送りいたしました。心よりご冥福をお祈りいたします。

＜稲門祭記念品の購入御礼と福引抽選番号＞

2017 年稲門祭記念グッズを購入し「奨学金支援」に、ご協力頂きありがとうございました。お陰様で今年度の当会の目標 14 万円に対し、実績は 18 万 4 千円（ご協力者 50 名）と、皆様のご協力により目標を大きく上回ることが出来ました。何より嬉しかったのは、協力者が昨年より５名増えたことです。特に欲しいものが有るわけでもない中で、学生の為に寄付のつもりで協力頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。

尚、今年の稲門祭は 10 月 15 日（日）に開催されます。稲門祭は、学生が主催する早稲田祭とは異なり、校友会が主催する OB・OG の為のお祭りです。勿論学生も協力して盛り上げます。色々楽しめるお祭りです。友人や、ご家族と、独りで参加しても楽しめます。どうぞ参加してください。　グッズお買い上げの方には 2000 円に付き 1 本の福引抽選が行われます。昨年は 14 本の当選者が出ました、どうぞお楽しみに。当選者には賞品をお届けします。　担当：小野泰右　山口謙二

稲門祭グッズ福引抽選券番号一覧

10 月 15 日稲門祭で行われる福引の各自の抽選番号は以下の通りです。

藍原昌義(3501・3502)、安次峰暁(3503・3504・3505・3506・3507)、鮎貝盛和(3508)、有賀千歳(3509・3510)、池田信一(3511)、井坂宏(3512)、伊東毅(3513・3514)、上田敦嗣(3515・3516・3517・3518・3519・3520・3521・3522・3523)、大矢真弘(3524・3525)、岡田潔(3526)、小野泰右(3527・3528)、小山田朋樹(3529・3530・3531)、梶井琢太（3532)、片平るみ（3533・3534)、金子孝司（3535)、川上昇一(3536)、川島和子(3537)、河村洋子(3538)、吉川明美(3539)、久家政裕(3540)、後藤秀作(3541)、呉淳久(3542)、国米家巳三(3543)、酒井正敬(3544・3545・3546)、坂井淑晃(3547)、酒巻千賀(3548)、佐藤一郎(3549)、清水正弘(3550・3551)、高橋哲男(3552・3553・3554)、高柳康夫(3555)、東海俊孝(5311・5312)、辰巳徳蔵(5313)、塚越崇(5314)、中村敏明(5315)、長束輝夫(5316・5317・5318・5319)、菱山房子(5320・5321)、平山正徑(5322)、福田稔(5323)、船津高志(5324)、別処尚志(5325)、帆角信美(5326)、松崎博(5327)、三浦洋子(5328)、武藤豊(5329)、村野建彦(5330・5331・5332・5333・5334)、山岡恭子(5335・5336)、山口謙二(5337・5338・5339・5340・5361)、吉田清郎(5362)、渡辺真司(6996・6997)、
大野貴志夫―三田会会長(6998・6999・7000)

＊発注の関係や発送の関係等で抽選番号が必ずしも連番ではありません。公平を期すためアイウエオ順に割り当てました。

＜部会長交代＞

下記の通り部会長が交代いたします。(敬称略)

女性サークル：　石寺美弥子　⇒　片平るみ
太極拳　：　鮎貝盛和　⇒　渡辺真司
春秋早慶戦観戦　：　高橋哲男　⇒　山口謙二
バドミントン（新設）⇒　渡辺真司
ゴルフ　：　伊東　毅　⇒　金子孝司
グルメ　：　比護喜一郎　⇒　村野建彦
諸芸術鑑賞　：　菱山房子　⇒　小野泰右

＜　会員の皆様へ　＞

平成 29 年 9 月より、東稲ニュースで「部会探訪」の連載を始めます。各号 1～2 の部会を紹介していく予定です。いつも掲載している活動報告でなく、どのくらいの頻度で、どこでどのような活動をしているのか？　何人くらい集まっているのか？　費用はどのくらいかかっているのか？　等々、各部会について詳細に判り易く紹介する記事にしていきます。

会員の皆様は、興味のある部会に、是非体験だけでもＯＫですので、参加してみてください。

〈会員リレーエッセイ〉　***～噴水広場～***

交通信号の遵守について

平子敏夫（36 年　教育）

小生、車の運転中に気になってしょうがないことがあります。この投稿欄をお借りして日頃感じている点を僭越ながら指摘させていただき会員各位のご賛同をいただくと同時にご協力をいただきたいと思います。

道交法では、黄色の信号は交差点への進入禁止、赤はもちろん停止しなければなりません。しかし、現状はどうでしょうか？みなさんも気づいておられると思いますが、“黄色はあたかも青信号のごとく”、ごく当たり前に交差点に突入しそのまま通過、黄色から変わったばかりの赤信号もほぼ然りです。

交通信号は、法律(ルール)の最も基本をなす「権利互譲」の精神から成っているということを習った記憶があります。民法で戒める「権利の濫用はこれを認めない」の理念も含まれています。これを利用する我々は、車を運転するときはもちろん、自転車に乗るときも、あるいは歩行中であっても、この精神を尊重しなければならないと思います。

しかるに、現状はどうかといいますと残念ながら上に述べたとおり、その基本理念の尊重とは程遠くルールが軽視されていると云わざるを得ません。都心の主要道路または郊外に延びる幹線道路と違い、周辺都市（郊外）の交通信号は、取り締まりの緩慢さからか、遵守されるどころか、非常に“ルーズ”に“守られ”ています。

対向車線の右折車は、普通、信号が黄色になってから右折動作を開始します（右折信号のある場合は別）が、現実には、対向車が突っ込んでくるので、なかなか右折できず、結局、赤信号で動作を開始しなくてはなりません。現在は、“赤々”信号（警視庁では“全赤”信号と呼んでいるようです）なので、赤で右折を開始しても、さしたる危険はないのかもしれません。しかし、これが常態化していて最近は、交差道路側の信号が青であるにも関わらず進入してくる右折車がいるようになりました。これらは、みなさん先刻ご承知のことだと思います。

事故が起こっていないんだから構わないじゃないかと云われるかもしれません。しかし、これは交差側のドライバーの寛容によって事故の発生が防がれているにほかなりません。相手の権利は侵してはならないのがルールの法則です。黄色や赤信号を軽視する癖（甘え）が交差する青信号の権利を奪っているのではないでしょうか。

黄色信号で交差点への進入を思いとどまり、停止線できちっと停車させる習慣をつけると、“きれいな”秩序が生まれることに気が付きます。まず東稲ニュースの読者から始めてみませんか。

＜編集後記＞

中学生のころ覚えた平家物語の冒頭部分が頭に浮かんでくるこの頃。永田町界隈だけでなく、私たちの国そのものも、高齢化、少子化、晩婚化、人口減少・・と。思えば子供のころは、所得倍増だ、オリンピックだと常に右肩上がりの高度成長。概ねよい時代を生きてきたと思う。子や孫たち世代に、希望のある、おだやかで豊かな未来をどうしたら残せるか、OB 世代の我々の責任は重いと思う。でも深刻になる前に早稲田精神を思い出し、稲門会部会活動に積極的に参加して、自らまずハッピーな笑顔に！

次号から部会探訪企画連載開始。ぜひ自分にあった部会を見つけてご参加を！（朋）